Gemini 4 Argon：長期エージェント時代の新フロンティアAI

主要機能と実務における強み

出力上限が100万トークン（約15.6倍）へ大幅拡張



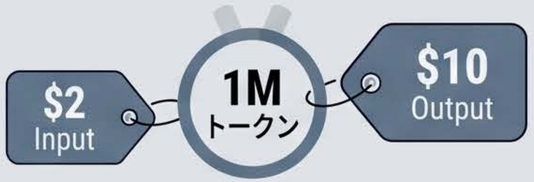
長時間の推論やコード作成を単一の作業軌跡で実行可能です。

企業ナレッジワーク・法務・サイバー防御で首位を記録

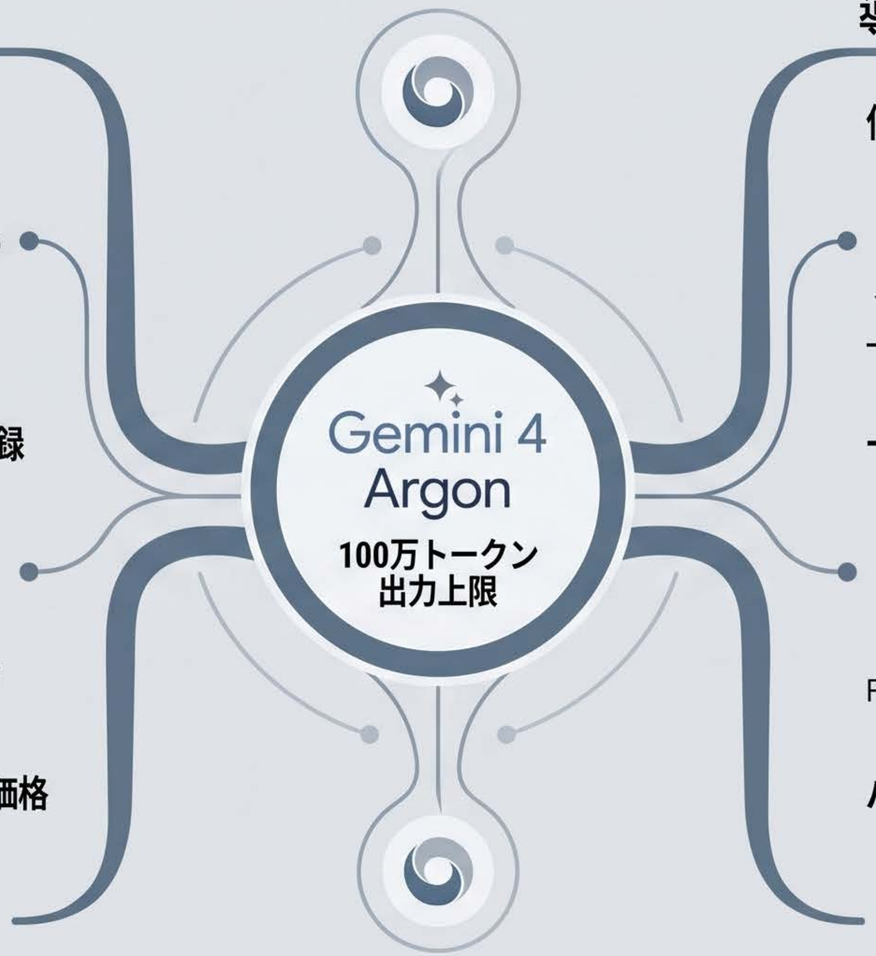


Vals IndexやHarvey法務ベンチマークなど実質的な業務指標で優性性を示しました。

100万トークンあたり$2（入力）/$10（出力）の戦略的価格



長時間エージェントの継続利用を見据えたアグレッシブな価格設定です。



導入における制約とガバナンス上の課題

信頼できるサイバー防御者に限定した二層型アクセス



一般公開APIの提供日は未定で、現在は段階的な限定提供にとどまります。

一部の純粋コーディング・端末操作課題では競合に遅れ



FrontierSWE v2やTerminal-BenchではOpenAIやAnthropicが優勢です。

パラメータ数や訓練データなど科学的情報の不透明さ



Hidden Structure

再現性の検証が困難

基本構造が未公表のため、第三者による再現性の検証が課題となります。

Gemini Notebook